

宮崎県

高鍋町

津波ハザードマップ

※津波注意

あなたと家族、まちを守るためにできること

指定避難所一覧

番号	名称	TEL
1	高鍋町防災センター（役場来客駐車室内）	26-2001
2	高鍋町中央公民館	23-0048
3	高鍋町体育館	—
4	高鍋町スポーツセンター	23-3721
5	高鍋町美術館	23-8887
6	高鍋町健康づくりセンター	23-2323
7	高鍋西中学校（体育館）	23-0872
8	高鍋西小学校（体育館）	23-0047
9	東見湯消防組合	22-1360
10	農業大学校（体育館）	23-0120
11	高鍋農業高等学校（体育館）	23-0002
12	高鍋町老人福祉館（高鍋町総合福祉センター内）	—
13	めいりんの湯	23-2626
14	高鍋町ふれあい交流センター（福祉避難所）	22-2911
15	（福）晴陽会 うからの里 高鍋事業所	21-1511

一時避難場所（指定緊急避難場所）一覧

番号	名称
1	南高鍋農村広場
2	南九州大学高鍋キャンパス（第1運動場）
3	南九州大学高鍋キャンパス（第2運動場）
4	舞鶴公園
5	高鍋大師
6	東九州自動車道の区域の一部（高鍋IC付近）
7	長法寺農村公園
8	めいりんの湯（駐車場）
9	高鍋町スポーツセンター（駐車場）
10	高鍋農業高等学校（運動場）
11	高鍋農業高等学校（第2グラウンド）
12	高鍋農業高等学校（明倫寮）※建物を除く

津波避難ビル（指定緊急避難場所）一覧

番号	名称	避難部分	収容人数	海拔
1	高鍋フェニックスマンション	3階廊下	23人	4.6m
2	ハビナスコート	3階廊下	23人	6.2m
3	T-MAX高鍋店（旧4駐車場）	2～3階駐車場	4,134人	5.7m
4	i・Diamond	3階廊下	22人	4.4m
5	ホテル泉屋	3階廊下・屋上	880人	4.3m
6	高鍋第一ホテル	3～5階廊下	171人	3.8m
7	恵比須ガーデンⅡ	3階廊下	26人	4.2m
8	サンフィールド高鍋Ⅱ	3階廊下	43人	3.5m
9	ロイヤルシェー高鍋	3～5階廊下・屋上	216人	4.2m
10	介護老人保健施設せでし園	屋上	568人	3.3m
11	サンフィールド高鍋	3階廊下	35人	3.9m
12	九州電力高鍋営業所	3階会議室・廊下	186人	4.2m
13	宮崎県高鍋総合庁舎	3階廊下、屋上	371人	4.4m
14	高鍋高等学校第1校	第1校3階廊下	169人	5.7m
15	サンフィールド高鍋Ⅲ	3～4階廊下	60人	5.1m
16	高鍋東小学校第2校	第2校屋上	600人	5.3m
17	高鍋東小学校第3校	第3校屋上	800人	5.3m
18	高鍋東小学校第4校	第4校屋上	800人	5.3m
19	錦増田工務店	屋上	201人	4.4m
20	レジデンスハーモニーⅡ	3階廊下	25人	6.6m
21	ホテル四季亭	3階廊下・屋上	1,853人	5.2m
22	ピブレコート	3階廊下	22人	4.1m
23	オッココスタ高鍋	3～8階廊下	341人	9.6m
24	山本マンション	3階廊下	27人	6.2m
25	スカイやまもと	3～4階廊下	34人	6.3m
26	宇都宮ビル	屋上	110人	5.5m
27	高鍋西中学校第1校	第1校屋上	600人	6.2m
28	町営持田団地A棟	3～5階廊下	360人	3.4m
29	町営持田団地B棟	3階廊下	83人	3.1m
30	県営持田団地1号棟	3～7階廊下	498人	3.7m
31	県営持田団地2号棟	3～7階廊下	530人	3.7m
32	県営持田団地3号棟	3～5階廊下	420人	3.7m
33	ブランドールff	3階廊下	20人	6.6m
34	高鍋西小学校第2校	第2校屋上	600人	7.5m
35	レジデンスハーモニー	3階廊下	37人	6.5m
36	フェリススタ高鍋	3階廊下	34人	6.7m
37	グランドステージ	3階廊下	34人	6.0m

【浸水想定条件】

対象津波 南海トラフ巨大地震による想定地震津波及び日向灘を中心とした想定地震津波

地震の規模 マグニチュード9.1

最大震度 震度7

潮位 宮崎沿岸の閉塞平均満潮位（東京湾平均海面+1.15m）

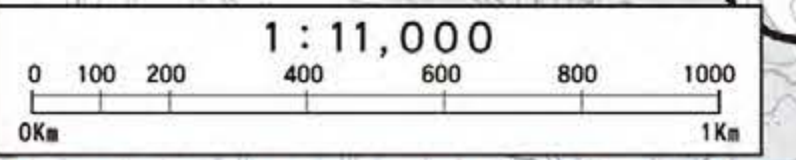
構造物条件

●護岸・防波堤・・・構造物無し

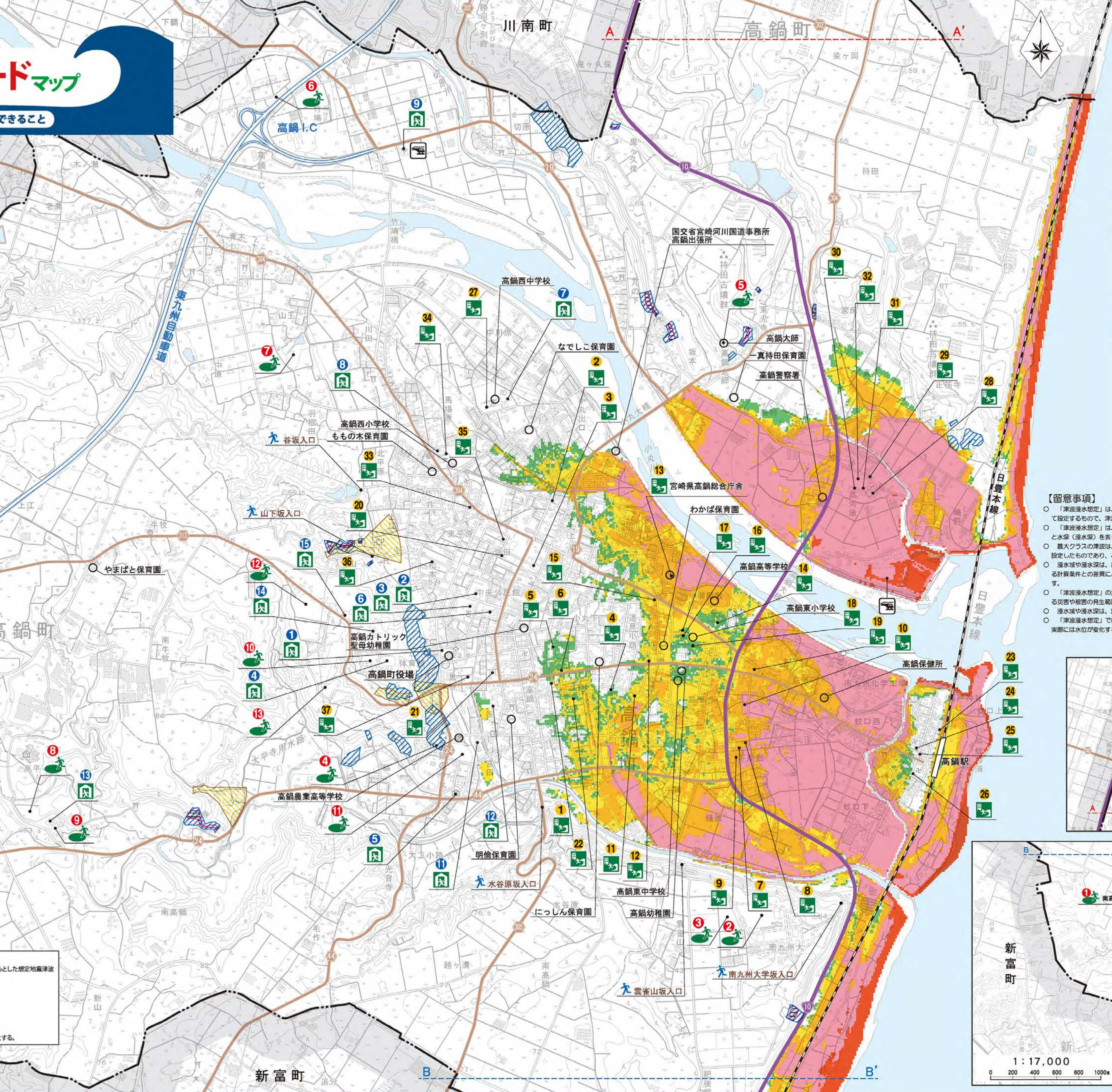
●堤防・・・地震前の25%の高さとする。

●水門等・・・開放状態

※各種構造物は、津波が到達した時点で破壊され、無くなるものとする。



「この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。〔承認番号 平26 情報 第382号〕」承認を得て作成した複製品を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の承認を得なければなりません。



【地図の凡例】

記号	名称	説明
	指定避難所	家屋が被災したときや、津波による浸水が予想されるときなどに避難する町が指定した施設です。
	一時避難場所	一時避難場所は、ひとまず避難する広い場所（公園・学校のグラウンド・公共施設の広場など）です。地域住民の方が集合・待機などをし、地域の方の安全確認などを行ってもらう場所でもあります。
	津波避難ビル	津波避難ビルは、一時的に緊急避難・待機する施設です。津波が発生した際に浸水予想区域外への避難が困難な場合は、この施設の上階に避難してください。

記号	名称	記号	名称
	高台への主な坂入口		市町村界
	ヘリポート		
	公共施設等		【土砂災害警戒区域】
	高速道路		急傾斜地の崩壊
	国道		土石流
	県道		【土砂災害特別警戒区域】
	J		R
			急傾斜地の崩壊

【浸水想定域凡例】

浸水深 (m)

10.0m以上

5.0m以上

2.0m以上

1.0m以上

0.3m以上

0.3m未満

20.0m未満

10.0m未満

5.0m未満

2.0m未満

1.0m未満

【浸水想定用語の解説】

浸水域： 海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

浸水深： 陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ

海岸線

浸水域(浸水深を着色)

浸水深(m)

東京湾平均海面(T.P.)

- 【留意事項】
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 浸水域や浸水深は、局所的な地形の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
 - 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
 - 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を明示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

